

国外協定校派遣学生の成果の公表について (2019 年度後期帰国者)

No. 01

派遣先
東海大学(台湾)
留学の成果について ※詳細は帰国報告書に記入いただいても構いません。
2019 年 2 月～2020 年 1 月
語学クラスのレベル ※大学附属の語学学校で勉強した方のみ
留学開始時： 初級 帰 国 時： 中級
留学の成果について
<p>留学に行く前にも HSK 検定を受け、四級に合格しました。</p> <p>しかし、実際に台湾にいくと、自分が思っているよりも中国語が話せず、聞き取れませんでした。それでも恥ずかしながら毎日中国語を使い、毎日中国語が耳に入る環境に居ることで、少しずつ確実に中国語の能力は高まりました。試験で受ける中国語の能力と、実際に使用する中国語能力は必ずしも比例しないことを知りました。読むことも書くことも大事であるので、バランスよく学習ができるように今後も勉強します。</p> <p>また、語学学校内の生徒は全員が中国語が母国語でないので、それぞれの話す中国語はアクセントがあります。それにより各国の言語の特徴をしれたり、自分が改善するべき点にも気づくことができました。</p> <p>日本人が中国語を勉強する際に一番難しいと言われているのは発音だと言われています。実際に日本語にない音を自分が話すことはとても難しかったです。何回も練習し、自分の苦手な発音の部分を克服しました。</p> <p>私は語学学校の授業以外にも学科の授業を選択していました。中国語や英語で授業を受けることは大変でしたが、単位も取得することができ、目標を達成しました。帰国後も自分がやりたいこと、挑戦したいことは積極的に取り組みたいです。</p>

No. 02

派遣先
東海大学(台湾)
留学の成果について ※詳細は帰国報告書に記入いただいても構いません。
2019 年 2 月～2020 年 1 月
語学クラスのレベル ※大学附属の語学学校で勉強した方のみ
留学開始時： A 帰 国 時： B
留学の成果について
<p>私は大好きな台湾で 1 年近く過ごせたことがとても思い出に残っています。</p> <p>最初は始めたての中国語で会話のままならない状態でしたが、次第にできることが増えて行って自分が成長していることを強く実感することができました。こんな経験をしたのは人生で生きていた中で初めてだったので台湾で過ごした日々はこれから生きていく中で 1 日たりとも忘れられないと思います。</p> <p>台湾を好きになったことから興味を持った中国語を台湾で学ぶことができ、台湾の人や他の国からの留学生の</p>

子たちとも沢山交流し国籍を超えた出会いがあったのでこの出会いを大切にこれからも仲良くしていきたいです。

私はホームシックや台湾の生活の中で慣れないことがあまりなくて、この留学生活がとても充実していたと感じます。いつかまた機会を見つけて台湾に住みたいと思うくらいにもっと台湾が好きになったので、中国語の学習をこれからも続けていきます。そして将来中国語を使ってお仕事をしたり、交流の機会を増やしたりと、自分の世界を広げられる武器にできるようにレベルアップできたらいいと思います。

No. 03

派遣先
東海大学(台湾)
留学の成果について ※詳細は帰国報告書に記入いただいても構いません。
2019年2月～2020年1月
語学クラスのレベル ※大学附属の語学学校で勉強した方のみ
留学開始時：読み書きが少しできる 帰国時：ある程度の聞き取りや日常会話ができる
留学の成果について
私は台湾に約一年間留学して、台湾でたくさんの人に出会って色々な事を学びました。国によつての文化の違いやルームメイトとの接し方、共同生活などとても良い経験をさせてもらっている事に感謝の気持ちでいっぱいです。海外で生活するのは、日本では普通のことができなかつたり、不便な面も多いです。しかし、やはり日本で言語を勉強するより、実際に現地で過ごしながらかその国の言語を勉強することでは全く伸び具合が違つたと実感しました。友達の輪も広がり、カルチャーショックも受けましたが、それも受け入れることで人の見方が変わつてきたり、考え方も変わりました。台湾で中国語を学んで、自分の中国語に少し自身が持てるくらいになりました。色々な面で成長することができた一年になりました。貴重な体験をさせてもらい本当にありがとうございました。四月からは、四年生になります。就職活動や卒論作成で忙しくなりますが、台湾で学んだ中国語はまだまだ勉強していきたいと思っています。

No. 04

派遣先
韓南大学校(韓国)
留学の成果について ※詳細は帰国報告書に記入いただいても構いません。
2019年2月～2020年2月
語学クラスのレベル ※大学附属の語学学校で勉強した方のみ
留学開始時：4級 帰国時：準6級
留学の成果について
留学に行く前は、韓国語能力試験もギリギリ3級に受かる程度の実力だったが、留学期間中に6級を取得することができた。また、私は留学試験の時に面接の点数がとても低く、話すことが苦手だったので、少しは話せるようになったと感じている。

No. 05

派遣先
韓南大学校(韓国)
留学の成果について ※詳細は帰国報告書に記入いただいても構いません。
2019年2月～2020年2月
語学クラスのレベル ※大学附属の語学学校で勉強した方のみ
留学開始時：4級 帰国時：6級
留学の成果について
私は、日本にいたときあまり実力がなく覚えた表現もあたっているのかわかりませんでした。そして、メンタルや意思も弱かったです。ですが韓国にきて学習の面でも個人的な面でも大きく成長できたと思います。

No. 06

派遣先
韓南大学校(韓国)
留学の成果について ※詳細は帰国報告書に記入いただいても構いません。
2019年2月～2020年2月
語学クラスのレベル ※大学附属の語学学校で勉強した方のみ
留学開始時：TOPIK2級 帰国時：TOPIK6級
留学の成果について
留学前よりも何事にも積極的に取り組むことができるようになってきていると思う。勉強する習慣も、自分の身についた。

No. 07

派遣先
嘉泉大学校(韓国)
留学の成果について ※詳細は帰国報告書に記入いただいても構いません。
2019年2月～2020年2月
語学クラスのレベル ※大学附属の語学学校で勉強した方のみ
留学開始時：3級 帰国時：進学クラス(6級の次)
留学の成果について
掲示板に掲載されている交流会等に積極的に参加し、積極的に話しかけることで友達が増えました。

No. 08

派遣先
嘉泉大学校(韓国)
留学の成果について ※詳細は帰国報告書に記入いただいても構いません。
2019年2月～2020年2月

語学クラスのレベル ※大学附属の語学学校で勉強した方のみ
留学開始時： 3 級 帰 国 時： 進学クラス(6 級の次)
留学の成果について
<p>韓国へ留学をして実際 1 年間住んでみると、旅行で滞在することとは全然違って韓国の文化や歴史だけではなく、韓国の教育問題や韓国人の価値観や考えも知れて韓国人の情深さにも触れることができました。語学面では、4 学期間、語学堂に通い韓国語能力試験 6 級に合格することができました。嘉泉大学は、国際交流プログラムのようなものが他に比べて少ないと思っていましたが、学生主体のものも学校が主体の国際交流活動もあり、現地の学生と関わる機会もたくさんありました。交換留学をして、韓国・日本以外の他の国の友達もできて様々な国の文化を知ることができたのも大きかったです。こんな素晴らしい経験をさせてくれて、留学に関わってくれた方々と親には感謝の気持ちでいっぱいです。今後は、この経験と培った語学力を生かせるようにまた努力していきます。</p>

No. 09

派遣先
釜慶大学校(韓国)
留学の成果について ※詳細は帰国報告書に記入いただいても構いません。
2019 年 2 月～2020 年 1 月
語学クラスのレベル ※大学附属の語学学校で勉強した方のみ
留学開始時： 3 級 帰 国 時： 5 級
留学の成果について
<p>留学を通して一番得られた成果は、トピック(韓国語能力試験)6級に合格したことです。日本にいた時は、トピック2級しかもっておらず、これから留学に行くにも関わらず私の韓国語は初級レベルだったので語学力にかなりの不安を抱えたまま韓国へ出発してしまいました。韓国に来たばかりは、私の予想していた通り、韓国語での生活に苦労していましたが、留学中に絶対トピック6級を取る！という目標を掲げて、この一年間語学堂や大学の授業はもちろんのことですが、資格取得のために特別講座を受けたり、過去問を何度も解いてトピック対策に励めました。その結果、留学中の大きな目標を達成することができたので頑張っってよかったです。</p> <p>もう一つの成果は、韓国人と韓国語でコミュニケーションをとれるようになったことです。私は語学堂に通い始めてからは、授業の内容や先生の言っていることを理解できるようになったのですが、語学堂以外で触れる韓国語がなかなか聞き取れないことが悩みでした。実際に韓国人が話す言葉や、店員が話す言葉のスピードはとても速く、使う韓国語も省略した言葉や若者言葉が多かったので、やはり語学堂で学ぶ韓国語と、実際に韓国人が使う韓国語では違う部分が多いなと感じました。私は実際に韓国人とコミュニケーションをとれるようになることが留学に来た一番の目的だったので、それからは韓国人と積極的に遊びに行きながら、日常会話で使われる韓国語を習得できるように韓国語の会話の練習に励みました。そうしたら、だんだん韓国人が話す言葉がスッと頭に入ってきて、最初に比べたらスムーズにコミュニケーションをとれるようになりました。そのおかげで、前より韓国人とより深い話ができるようになり、さらに仲が深まったので良かったです。</p>

No. 10

派遣先
釜慶大学校(韓国)
留学の成果について ※詳細は帰国報告書に記入いただいても構いません。
2019年2月～2020年2月
語学クラスのレベル ※大学附属の語学学校で勉強した方のみ
留学開始時：4級 帰国時：7級
留学の成果について
韓国留学で韓国語のレベルアップはもちろんのこと、かけがえのない友達、両親への感謝などたくさんのごことを学ぶことができました。実際に留学を経験してみて、人間的にもたくさん成長することができました。このような機会を与えてくださった、沖縄国際大学の皆さん、グローバルセンターの皆様、そして両親に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

No. 11

派遣先
釜慶大学校(韓国)
留学の成果について ※詳細は帰国報告書に記入いただいても構いません。
2019年2月～2020年2月
語学クラスのレベル ※大学附属の語学学校で勉強した方のみ
留学開始時：4級 帰国時：7級 (私の場合4、5、7級に通いました。6級を飛び級した理由は、6級のクラスに人がいっぱいに入れなかったことと、既にその時私はトピック6級を取得していたので飛び級しても大丈夫だと判断された為)
留学の成果について
留学開始時、私はトピックを最低級の1級しか持って居なかったが、留学を開始して5カ月目には4級を取得し、さらに8カ月目には最高級の6級を取得しました。 語学堂のクラスは4級からスタートしました。始めは先生の話している内容はほぼ理解することができなくて、周りのみんなが何をしているかを見て、動いたりすることも多かったです。また、語学堂クラスの外国人達と話すのも、自分の聞き取りとスピーキングの能力が無くて、苦労しました。しかし語学堂春学期、夏学期を経て、先生の話も99%理解できるようになったし、外国人との会話にも苦労しなくなりました。 また、私の語学堂と大学の通い方を説明すると、前期は大学の授業を一つ受講しながら、語学堂を春夏学期受講しました。対して後期は主に大学の授業をフルに入れて、大学の冬休みからまた語学堂の冬学期に参加しました。後期は大学の授業を主に受講していましたが、やはり大学の授業を韓国人学生達と一緒に韓国語で受講するのは相当厳しかったです。しかし、時間が経ってくるとだんだん教授たちの言葉も理解できるようになって、授業に対する意欲もますます湧いてきました。